



店内にはリーズナブルな価格帯のコーナーも。しなやかで柔らかいリネンは、洋服、バッグ、カーテンなどさまざまなアイテムに最適。寒い季節には暖かく、暑い季節には涼しく包みこんでくれる。生地はWEBサイトからも購入可能。

**L&R(リネン&ラミー)**  
浜松市東区有玉西町814-1  
☎053-476-7662  
営／10:00～16:00  
休／土日祝、水曜  
<http://www.takemicloth.co.jp/>

**Company Data** 株式会社タケミクロス

先代と現社長が元々勤めていた織物工場を譲り受け、麻専門の機屋を1989年に創業。長年培った技術と知識を生かし、高品質なテキスタイルを浜松で製造。一流アパレルメーカーで使われるほか、新幹線の枕カバーや警視庁の制服、自衛隊のテント生地などにも採用されている。

次期3代目の竹内さん。

ヨーロッパの糸を使った、リネン生地の企画・製造・販売を行う「タケミクロス」の実店舗。全国各地のカフェや雑貨屋を巡り、参考にしたというこだわりの店内は、高い天井と降り注ぐ光が心地良い。自然な風合いのリネン生地とマッチし、ナチュラルな雰囲気の空間を演出している。

リネン、ラミー、ヘンプなどの、天然繊維を中心とした生地を約500種類も取り扱っており、県外からわざわざ訪れるファンも多いとか。はぎれセットやオリジナルのアパレル製品、地元の作家のブランドも人気だ。今後は、小物作りのワークショップなどのイベントも展開する予定。

## 麻のスペシャリストが企画・製造上質なリネンの専門店

浜松市東区  
**L&R**  
(リネン&ラミー)

次期3代目の竹内さん。



二代目社長の鈴木康子さんとスタッフの皆さん。女性ならではのアイデアや感性を生かして、さまざまな企画を打ち出している。



# 遠州織物に会いに行く! 浜松にしかない生地屋めぐり

織物の産地・浜松には、一般に出回らない地元産の生地を直接購入できるショップが存在。一流アパレルメーカーで使用される、ハイクオリティーな生地に出会えることも!

一流の生地で自由に創作  
産元商社が手がける、  
新たな文化の発信基地



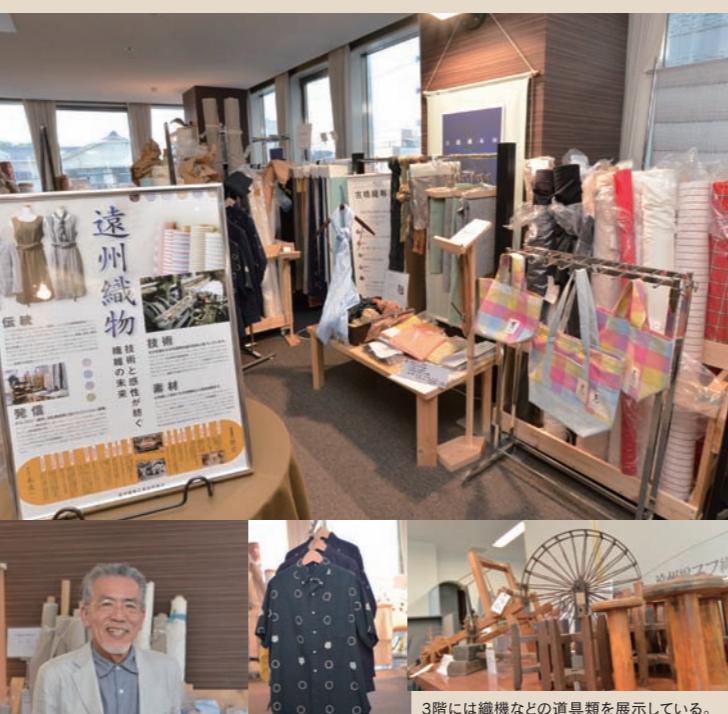
月ごとのイベントチラシは、スタッフの手描き。  
1回(2時間)1,000円で受講できる、人気のソーリング教室。これまで約250人が参加した。講師は社員が務めている。

主に綿を使った織物を企画・開発し、製造の全工程をコーディネートする産元商社「鈴木織商」の生地直売店。「地域の消費者にも日本綿、浜松の綿織物の質の高さを知つてもらいたい」という鈴木社長の想いにより、平成19年、同社敷地内にオープン。アパレルメカーや大手商社を販売先とする産元が直販店を運営することは、全国的に珍しい例であり、県内外から注目を浴びている。

鈴木織商の生地は、ミラノコレクションで活躍するトップブランドでも使われるほどの一流品。そのクオリティーの高さはお墨付

きた。「オリショージー」では、同じ生地を格安で販売するほか、ソーリング教室や小物作りのワークショップなど、創作の方法や楽しみ方の提案も発信している。また、布地を購入した人が手作り品を販売する場として「オリショーマルシェ」を定期的に開催し、地域の人々との交流の輪を広げている。

洋服、雑貨、アクセサリー、インテリアグッズ・世界に誇るオリショーの生地で、モノづくりを楽しんでみよう。この世にひとつだけの手作り品は、日常の暮らしに花を添えてくれるはずだ。



**遠州織物会館**  
(遠州織物工業協同組合)

織維業界に40年以上携わる松尾事務局長。「今だに知らないことがあるんです。織維産業は奥が深いんですよ。多くの生地探しの相談に訪れるそうだ。会館は一般開放しており、個人での訪問も受け入れている。欲しい生地があれば、その場で購入できるのもうれしい。

遠州織物会館(遠州織物工業協同組合)  
浜松市中区山下町1-2  
☎053-478-0121  
開館時間／10:00～12:00、13:00～16:00 ※見学・訪問は要予約  
<http://www.3.tokai.or.jp/orori/>

浜松市東区  
**オリショージー**

**オリショージー**  
浜松市東区神立町125-1  
☎053-463-5591  
営／9:00～19:00  
休／土曜午後、日祝  
<http://e-kiji.ocnk.net/>  
<http://orishojr2014.hamazo.tv/>

**Company Data** 鈴木織商株式会社

昭和29年創業。織物を企画・製造・販売する産元(さんもと)商社。糸を仕入れ、織布、染色などの分業化された製造工程を統括し、各業者へ仕事を依頼する。業界独自の形態を生かし、時代を捉えた新しい素材の開発に力を注ぎ、産元として常に進化し続けている。



浜松市中区  
**遠州織物会館**  
(遠州織物工業協同組合)



みるみる染まる!  
感動の瞬間を

# 和紙タオルの染め体験

静岡滤布・和紙タオル屋さん

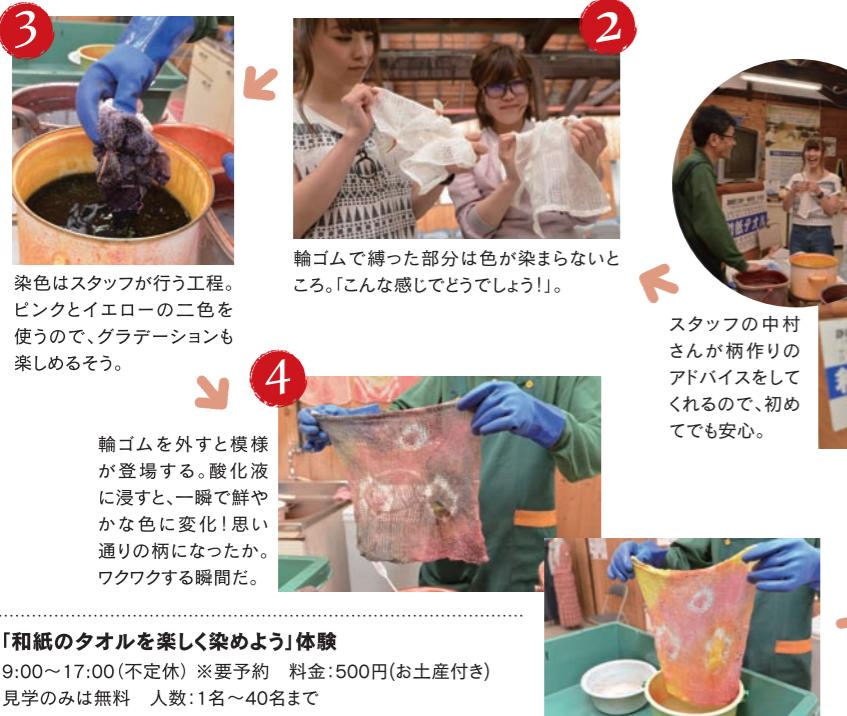
浜松の伝統織物「遠州からみ織り」の技術を用いて  
開発された、和紙タオルを染めてみよう!

浜名湖かんさんじ温泉からほど  
近い場所に、珍しい染め体験ができる「静岡滤布・和紙タオル屋さん」がある。使用するのは、浜名湖の漁網の技術をもとに開発された、「遠州からみふつくら織り」で織った独自のボディウオッシュタオル。天然纖維の和紙とテンセルの糸からできており、やさしい使い心地と泡立ちの良さが評判となっている。

染め体験は、このタオルに柄をつけることからスタート。輪ゴムを使い、仕上がりをイメージしながら結んでいくだけなので、子どもも大人も楽しめる。真っ白いタオルが鮮やかな染料で染め上げられた瞬間は感動もの! 世界で1枚しかないタオルの完成だ。

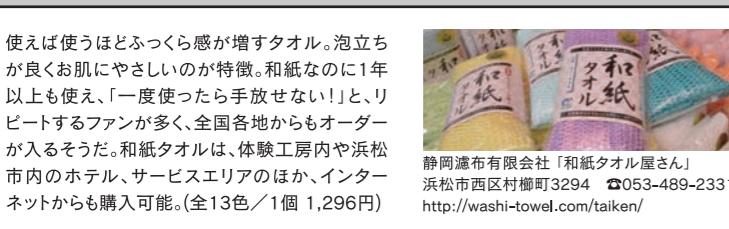


キレイに染まった和紙タオル。持ち帰って、その使い心地を体感してみよう。



## 「和紙のタオルを楽しく染めよう」体験

9:00~17:00(不定休) ※要予約 料金:500円(お土産付き)  
見学のみは無料 人数:1名~40名まで



使えば使うほどふくら感が増すタオル。泡立ちが良くお肌にやさしいのが特徴。和紙なのに1年以上も使え、「一度使ったら手放せない!」と、リピートするファンが多く、全国各地からもオーダーが入るそうだ。和紙タオルは、体験工房内や浜松市内のホテル、サービスエリアのほか、インターネットからも購入可能。(全13色/1個 1,296円)

体験工房の隣にある織屋で生産される和紙タオル。糸と糸が立体交差する「遠州からみふくら織り」で作られる。和紙なのに切れたり溶けたりしない不思議なタオルが、職人の技で次々と織られていく。



代表の大高旭さん。江戸時代から続く伝統織物・遠州綿紬を現代に蘇らせた立役者。今後の夢は、歴史がある建物を利用し、遠州綿紬の工房やカフェ、民芸館、旅館などを配置した観光の拠点施設を作ること。

**ぬくもり工房**  
浜松市浜北区染地台3-12-25  
☎053-545-6391  
営/10:00~18:00  
休/無休(年末年始は除く)  
<http://nukumorikoubou.com/>

Company Data 有限会社ぬくもり工房

遠州綿紬の生地や雑貨を企画・製造・販売。もともとは産元商社のインターネット販売部門だったが2006年に独立。ホテルや店舗のプロデュースにも携わるなど、幅広い分野で活躍している。2016年には取引先であった縫製会社の事業を引き継ぎ、「静岡縫製」を設立した。



地元金融機関の駐車場で定期的に開催している朝市「きらりマルシェ」。地場の農産品、雑貨品が並び、地元の住民との交流の場となっている。

画される、オリジナルブランド「つむぐ」の雑貨やアパレル製品のか、地元浜松の逸品や静岡のクラフトなど、暮らしを豊かにする伝統の品々もラインアップ。2階はギャラリーとして、地元の作家の作品を展示している。

## 美しい日本のストライプ柄

浜松市北部の閑静な住宅街に併む、遠州綿紬のアンテナショップ。日本三大人工美林として名高い地元の天竜杉をふんだんに使用した店内は、綿紬の特徴である縞模様が映える和モダンな空間だ。「ぬくもり工房」は遠州綿紬専門の産元として、織物の企画・製造・販売を行っており、店内には現在展開する生地のほとんどが並ぶ。古典的なものから、現代風にデザインされたモダンな配色まで、その数は約100種類以上。着物や作務衣の仕立てのオーダーも多く、わざわざ県外から訪れる方もいるとか。見て、触れて、美しい日本色と木綿の風合いを感じてほしい。



浜松市浜北区  
**ぬくもり工房**